

「第1回新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏共生ビジョン懇談会」会議概要

- 1 日 時：平成28年11月28日（月）午前10時～正午
- 2 会 場：新発田駅前複合施設「イクネスしばた」1階 多目的室1
- 3 出席者：桑原会長、高澤副会長、森委員、相馬委員、加藤委員、田中（正）委員、水戸部委員、田中（厚）委員
【事務局】新発田市みらい創造課：佐藤課長、野崎課長補佐、高山係長、山田主任
胎内市総合政策課：井畑課長、錦織係長
聖籠町総務課：久保主事

4 会議概要 ※次第に沿って進行 司会進行：事務局

○開会

○あいさつ ※新発田市副市長

日本では少子化や高齢化に加え、人口減少が進んでいる。この状況を踏まえ、地方では都市圏への人の流れを如何に食い止め、若者のライフスタイルに応じた居住の選択肢を確保することが課題であり、1自治体の取組だけでは解決はできない事態に直面している。

定住自立圏は人口減少対策の一躍を担うものと期待しており、広域的な連携により圏域の課題を解決していけるものと確信している。

○委嘱状交付

○委員及び事務局職員紹介

※委員及び事務局職員が一人ずつ自己紹介

○会長及び副会長選出

※事務局案に一任。会長に桑原委員、副会長に高澤委員を推薦し、委員の満場一致により承認。

○議事

「1 定住自立圏構想について」

【事務局】別紙1により概要説明。定住自立圏構想の概要、定住自立圏形成に向けたこれまでの動きと今後の予定を説明。また、資料により中心市宣言書、協定書について説明。

【会長】説明を受けて質問等の確認。質問なし

「2 定住自立圏共生ビジョン懇談会及び今後のスケジュールについて」

【事務局】別紙2により概要説明。定住自立圏共生ビジョンの概要、共生ビジョン懇談会の概要、今後のスケジュールについて説明。

【会長】説明を受けて質問等の確認。

【委員】第2回、第3回の懇談会の日程調整は可能か。

【事務局】変更の可否も含め、検討させていただきたい。

「3 共生ビジョン（案）について」

【事務局】別冊「共生ビジョン（案）」の目次に沿って説明。

【会長】具体的な取組については、次回、懇談会で説明するが、今の説明を受けて質問等の確認。

【委員】定住自立圏の取組によって、将来像の人口目標が達成される印象がある。

【事務局】各市町が単独で取り組む部分、連携する部分を合わせての目標となる。

ご理解をいただきたい。

【委員】一部の KPI について、3 市町の内容をまとめたものと思われる。3 市町の実態、強み弱みが見えるように、次回までに 3 市町の KPI の考え方を可能であれば示してほしい。

【事務局】KPI については、3 市町の積み上げである。公表についてはまとめた KPI で示すが、懇談会では 3 市町の KPI の考え方を示すこととしたい。

※10分休憩

※再開

【会長】共生ビジョンについては、来年度から実施していく内容になる。19 事業について実施していくが、その事業はほぼ組み上がっている。懇談会については、今後、事業を展開していく上での必要な助言、提言、圏域内の生活機能の向上や地域の活性化、また、他の分野や具体的な取組についての助言や提言をこの懇談会で発言してほしいとのことである。この方向性についての意見や質問の確認。

【委員】事業と KPI が一致していないものもある。見直しが必要と思われる。それぞれの行政間で行う事業、単体で行う事業がある。プロセスを教えてください。

【事務局】KPI については 3 市町で調整したものである。委員からもご意見をいただきたい。事業については 3 市町で合同に行うもの、それぞれが取り組むものもある。次回の懇談会で、具体的な取組について説明をしていきたい。

【委員】将来人口については具体的な数字が出ているが、地域ごとの具体的なものはあるのか。

【事務局】人口ビジョンをもとにしているため、新発田市全域の数字を示している。

【事務局】限界集落、コンパクトシティなど誘導等も検討材料にあるが、実践例がないため、無理に進める見方はない。計画は 5 年程度であるため、現状はほぼ変わらないと見ている。

【委員】自治体が魅力を発信して、住む場所は住みたい人が決める。魅力の発信により人口増加を図りたいということである。

【委員】この取組によって、飛躍的に良くなるとは考えられない。3 市町が集まりやることによって、今までできなかったことができるようになったなど、住民の皆さんの視点にそって、結果として見えるようにしていただきたい。

【会長】共生ビジョンに掲載している事業は、中止、変更はできないが、事業を如何に効果的に進めるかのご意見をいただきたい。今後、3 市町で新たにチャレンジする事業は必要である。

定住自立圏で大切な点が 2 点ある。1 つは既に住んでいる人が幸せであること。いい街であるために工夫していくことである。安心して子どもを産んで育てられる地域であることが必要である。もう 1 つは、現在、住んでいない人をどう取り込んでくるか。人口を呼び込むには 2 種類あり、U ターンとして、この地域に戻ってきてもらうことである。U ターンは伝えやすいが、I ターンは外に PR をしなければならない。3 市町が一丸となって魅力を発信していくことが効果的である。

※以降、人口を増やしていくための意見交換

※終了

【事務局】次回、懇談会の日程等の説明。

○開会